

お盆のお勤め

お盆にはみなさままで盂蘭盆経をおとなえしましょう。

(むさぼりの心を癒し無限の富を約束する)

南無宝生如来除慳貪業福知円満

(美しい体健康に恵まれる)

南無妙色身如来破醜陋形円満相好

(甘露として美味しいきれいな水浄血で身も心も潤う)

南無甘露王如来灌法身心令受快樂

(喉を締められるような苦しみから開放され食べ物に不自由しない)

南無広博身如来咽喉広大飲食受用

(あらゆる恐怖から目覚め、日常生活に立ち向かう勇気を与えられる)

南無離怖畏如来恐怖悉除離餓鬼趣

○ 仏説盂蘭盆経



西晋 月氏三蔵 竺法護訳

序章く昔々あるところに：聞如是。一時仏在舎衛国祇樹給孤独園。大目乾連。始得

六通。欲度父母報乳哺之恩。即以道眼。觀視世間。見其亡母生餓鬼中。不見飲

食皮骨連立。目連悲哀。即鉢盛飯往餉其母。母得鉢飯。便以左手障鉢右手搏

飯。食未入口化成火炭。遂不得食。目連大叫。悲号啼泣。馳還白仏。具陳如此。

第一章 く大丈夫ですよ 宝生如来のお言葉

仏言。汝母罪根深結。非汝一人力所奈何。汝雖孝順声動天地。天神地神邪魔外

道道士四天王神。亦不能奈何。当須十方衆僧。威神之力。乃得解脱。吾今当為汝

説救済之法。令一切難皆離憂苦罪障消除。

第二章 く七月の満月に集まった聖者たち 妙色身如来のお言葉

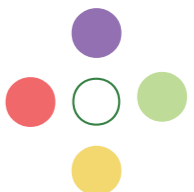
仏告目連。十方衆僧於七月十五日僧自恣時。当為七世父母。及現在父母厄難中

者。具飯百味五果汲灌盆器。香油錠燭床敷臥具。尽世甘美以著盆中。供養十

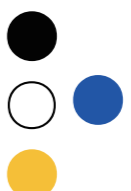
方大徳衆僧。当此之日。一切聖衆。或在山間禅定。或得四道果。或樹下経行。

或六通自在教化声聞縁覚。或十地菩薩大人権現比丘。在大衆中。皆同一心受鉢

南 ● 黄



東 ● 青(緑又は紫)



西 ● 赤



中央 ○ 白



北 ● 黒(紫又は緑)



